豊かな自然と農山漁村の暮らし・心高める体験交流

鹿児島県・指宿

心豊かになれる
指宿・大好き体験

鹿児島県指宿地域は、薩摩半島の最南端に位置し、指宿市、南九州市、南大隅町の2市1町で構成されます。来年3月の九州新幹線全線開業を見据えて、温暖な気候や多彩な自然、豊かな温泉、歴史的遺産などの魅力を最大限に活用した情報発信を図っています。

「指宿大好き体験協議会」では、これらの自然資源や人的資源を最大限に生かした農林業体験や漁業体験、自然体験、味覚体験、工芸体験、特に、指宿地域ならではの砂むし温泉体験など魅力的なプログラムを用意しました。

日本一の生産量を誇るソラマメやオクラの収穫体験、薩摩地方が発祥の地・さつまいも堀り体験など多種多様な農業体験があります。

また青い空、青い海と一体となり、地元の漁師とともに漁をする漁業体験は、自然とふれあい、自然から学び、そして自然を思いっきり満喫できることでしょう。さらに、本場のさつまあげ、地元の旬の素材を使って作る田舎料理などの味覚体験や豊富な資源を生かした工芸体験などもあります。

日本で唯一の天然砂むし温泉

薩摩の小京都、知覧で茶摘体験

かつお節の製造工程を体験

互いが高まり心豊かになれることを願っております。「指宿大好き体験」をぜひ、修学旅行や研修旅行などにご利用いただきますよう、地域を挙げてお待ちしております。

●砂むし温泉体験
おすすめのプログラム

指宿地域には豊富で多彩な温泉資源も数多くあり、中でも天然砂むし温泉は世界的にも珍しく、日本では指宿にしかない貴重なものです。山川砂むし温泉「砂湯里」では、開聞岳や錦江湾、東シナ海を一望できる絶好のロケーションで体験できます。

その効果は、砂の重さと温泉熱で体中の老廃物が汗と一緒に流れ出て、リフレッシュできます。

●茶摘み体験

南九州市の基幹産業であるお茶。健康に良いとされる化学的根拠や、おいしいお茶のできる条件などの講話を聴き、お茶に関する基礎知識を学んだ後、農家の指導のもと茶摘みを体験します。体験を通して、地元の農家の方々とふれあいながらおいしいお茶の入れ方や、お茶に合うお菓子などを教わり、かねて体験できないものを目や耳、肌で感じてもらい、お茶への理解を深めていただきます。

本場さつま揚げの調理体験

●かつお節製造体験

全国第2位の生産量を誇る山川では、かつお節の製造過程を体験することができます。

かつお節は多くのDHAを含み、必須アミノ酸やビタミンも豊富です。また、良質のたんぱく質が多く含まれています。この体験では、インストラクターの指導のもとかつお節ができるまでの生切り、煮熟、骨抜き、出荷などの工程を体験します。かつお節で作った茶節も味わえます。

指宿大好き体験協議会
〒891-0497 鹿児島県指宿市十町2424
指宿市役所観光課内
TEL 0993-22-2111　FAX 0993-23-4987
E-mail:kankou@city.ibusuki.1g.jp

オピニオン

児童生徒不登校（08年12万6805人）いじめ（08年8万5千件）暴力行為（08年5万9618件）と大変厳しい教育環境が続いている。完全失業者数は344万人（10年6月）、ニート（非就業、非求職、非通学、非職業訓練の15歳から35歳までの未婚者）に「不登校」や「家事を行わない者」64万人（09年厚労省調査）。このように依然として雇用は好転せず、このままでは大変厳しい未来が待っており、文科省は40人学級から30人にすべく予算要求をするとの報道があった。12年からの新学習指導要領でも「生きる力を育む」という教育方針には変わりないが、さらに力点を置かなければならない時代になったと言えよう。

依然として多い不登校の生徒児童は全国で12万人以上にも及ぶ。原因は何か、いろいろな要因が絡まっているが1つは先生や生徒との人間関係がうまくいかないことにある。つまりは「人間関係構築能力」の低下である。そして友だちができない、いじめに遭う、登校拒否、不登校とつながっていく。

放課後の校庭やグラウンドは部活以外には使われず、地域の公園など、野外で遊びもしない。小学校低学年と高学年が遊ぶ機会も極めて少ない。同級生でも野球やサッカーが出きるほどの人数ではない。違年齢間や多人数の中で人間関係を学ぶのである。部屋に閉じこもりテレビやコンピューターゲームばかりでは疑似体験であり、真実は学べない。生き物や人の命の尊さを考える機会はゲームでないことは明らかであり、むしろ悪影響を及ぼしている。

もう1つは「夢と希望」持つ子供が少ないことにもある（新成人で未来が明るいと考えた人は6%）。夢と希望、あこがれ、職業選択へとつながる。将来に向かう目標が定まらなくて学習のモチベーションが上がるはずもない。学力低下の問題は学習の時間が足りないわけではない。ゆとり学習のせいでもない。行きたくない学校で、何に向かうか分からない中で学力向上などあるはずもない。すなわち、学習環境の向上、つまりは人間関係構築能力とやる気こそが重要である。机上の学習を重視するあまり、いろいろな事態に柔軟に対応できる子どもが少なくなり、ますます便利になる、家電製品やレトルト食品、コンビニやファーストフード店などの利用が進み、何もできない人が増え、人間の持つあらゆる能力が退化するようにさえ思わる。

そんな中にあって、自然体験、環境学習、農林漁業などの産業体験、勤労体験、職業体験などの共通体験は人を大きく豊かにする。また、人間関係の構築にも大きくプラスになり、ペーパー学問以外の自分の潜在能力に気付き、夢や希望につながり、目標を持ち、気力を持つことになる。その体験を通して人が変わり、高まる姿が日本の教育に必要不可欠である。「生きる力を育む」教育は机上学問のみならず、人は人により、自然は自然により学ぶ体験学習の機会が「人を変え」「人を高める」ことになると確信している。

修学旅行を中心とするあらゆる教育現場に、次に掲載されている各地域は真剣に教育に取り組んでいる。日本の田舎の地域が持つ教育力を大いに活用してほしい。

体験教育企画　代表　藤澤安良

長崎・北松浦半島

『心に響く感動体験』

私たちの活動の舞台は九州の西端、長崎県北部に位置する北松浦半島とその周辺の島々からなる地域です。源平合戦や元寇の折りに活躍した「松浦党水軍」の本拠地でもあります。この歴史豊かな土地の生業をまるごと体験できるのが「ほんなもん体験」です。

一番人気は漁村、農村での民泊体験です。ありのままの暮らしや自然の営みの中で、家族の一員として過ごし、豊かな心を育む感動のプログラムです。

◆心に響く第2のふるさと

これまで多くの生徒さんに松浦党の里においで頂きましたが、来られた時と帰られる時の心の変容をたびたび感じます。1泊や2泊という短い間ですが、みんなそろっての夕食、散歩道での星空やたくさんの蛍に感動し家族の優しさに触れ、一家団らんの楽しい時間を過ごすうちに、本当の家族のようになります。

離村式では生徒の皆さんが口々に「帰りたくない」「必ずまた来ます」と言って涙を流し、受け入れ家族と抱き合ったり、握手したりする光景をよく目にします。生徒の皆さんは初めて見ず知らずの人と心が通じ合い、信頼関係を築けたことにより、大きな自信を得て深く感動し、生き生きと活力に満ちた表情に変わっています。そして、生徒の皆さんにとって「松浦党の里」が「第2のふるさと」になるのです。

◆心の高まりを感じてほしい

体験活動は農漁業や伝統的食文化、環境への理解を深め、コミュニケーション能力を高める絶好の機会です。「自然とともに生きる人々に出会い、体験や民泊を通して目覚め、そして高まる」、そのような感動体験を1人でも多くの生徒の皆さんに体感してほしいと願っています。

心に響く感動の農村民泊

和牛農家体験

定置網漁

「ほんなもん体験」3つの特徴

①90種類の豊富な農林漁業体験プログラムと1日最大2,000人の受け入れが可能な漁村、農村での民泊（受け入れ可能民家数約500軒）
②広域エリア内14団体の受け入れ組織からなる「一般社団法人まつうら党交流公社」を行政が強力にバックアップする官民協働のコーディネートシステム
③受け入れ民家、インストラクターへの定期的な安全衛生講習の実施、民泊・体験に対応する損害保険、自賠責保険への加入など安全、安心に対する万全の備え

一般社団法人まつうら党交流公社
〒859-4501 長崎県松浦市志佐町浦免1808-1
TEL 0956-27-9333　FAX 0956-27-9334
E-mail:kouryu-1ban@matsuurato.jp
http://www.honmono-taiken.jp

高知県・幡多

四万十の四季。本物の自然。ここで感じる
幡多をまるごと体感

四国の西南に位置する高知県のしまんと・あしずり（幡多）地域は、香川県とほぼ同じ面積を持ち、日本最後の清流と言われている「四万十川」を中心に山は四国山地、海は太平洋という多様な自然環境に恵まれ、多種多様な生命が息づいている地域です。

この地域は、森と水に支えられ、昔懐かしい人々の営みが体験でき、現在も自然と生活の日本の原風景が残っています。この地で古より自然と共存してきた、地元のさまざまな達人たちの技・匠、そして人情にふれ、心のふるさとを体感しながら、ワクワクドキドキの体験を通じて違う自分が発見できることでしょう。

幡多広域観光協議会は六市町村からなる、広域エリアの教育旅行を中心に体験交流型旅行の受け入れ窓口として誘致から調整、受け入れ、精算まで一括した組織で活動を行ってきましたが、今年6月、法人化による組織強化を図り、一層のコーディネート組織機能の充実に取り組んでいます。

家庭も90軒を越えてきましたが、さらに受け入れ家庭の増加と充実を官民一体で図っております。

「何にもないのに　なんでもある」。幡多は山、川、海、人情と田舎そのものでも、農山漁村、自然環境のすべてが1つの地域で体験できるのが幡多地域です。500人を超すインストラクターが受け入れにかかわり、家族、あるいは我が子のように、またそれ以上に一生懸命接し、体験を通じて人と人との交流により教育的効果の高い充実した内容の提供に頑張っております。

四万十川カヌー体験

本気で川と対面したいのなら、ぜったいにカヌーがおすすめ。比較的流れの緩やかな四万十川では、初心者も安全にカヌーが体験できます。熟練のインストラクターに指導を受け、できれば時間をかけて川下りを楽しみたい。自然環境の大切さを学びながら、ゆったりと水面をすべるカヌーで四万十川を体感してください。

ほんものの「かつお」たたきづくり体験

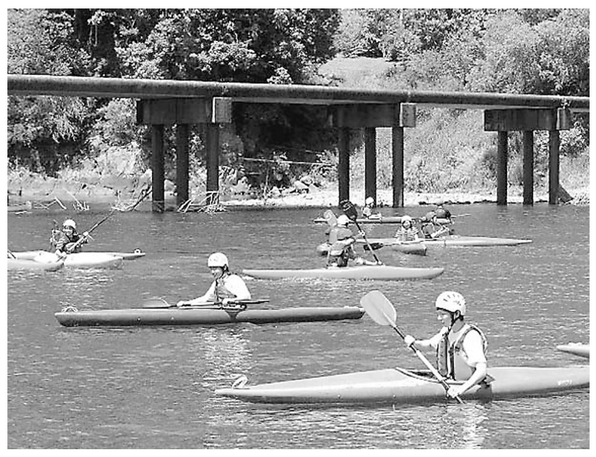
本場の「カツオ」たたきづくり体験ができます。漁師のおんちゃんやおばちゃんから「カツオ」のさばき方の指導を受け、おろしカツオを藁で焼き、盛り付けをします。自分でつくるたたきの味は格別。昔ながらのカツオのたたきづくりを通して、食の大切さや土佐の黒潮に育まれた漁師の文化を体験できます。

海の碧さを体感―漁業体験&郷土料理体験

◎チヌかご網漁
魚の習性を利用した漁法。何がとれているか分からないので、網上げのワクワクする瞬間が魅力。

◎養殖漁・餌やり体験
マダイ、ハマチ、カンパチなどが沖合の大きな網の中で、半自然の状態で大切に育てられています。いっせいに浮かび上がって餌を食べる迫力を実体験。

◎郷土料理（タイ）
漁業体験が終われば、漁師のおんちゃん、おばちゃんに郷土料理の歴史を学びながらタイ飯、刺身づくり。漁のありがたさを感じ、食の歴史を学ぶ人気のプログラム。食後にはほっと一息、釣り体験。さお作りの後、湾内での楽しい釣り体験、時には思わぬ大物も。


熟練インストラクターに指導を受け四万十川カヌー体験

カツオのたたき体験

漁業体験

一般社団法人　幡多広域観光協議会
〒787-0014 高知県四万十市駅前町12-17
TEL 0880-31-0233　FAX 0880-31-0660
E-mail:syuryo@hata-koiki.com
http://www.hata-koiki.com